

Q 市内公共交通の今後について

こじま ゆきひろ
小島 幸広 議員



A 公共施設の再編などに合わせて見直しを行っていききたい

問 現状のつるバス、つるワゴンの利用状況は。

答 令和5年度の一日の利用者数の平均は、つるバスが632人、つるワゴンが448人、合計で1080人である。運行を開始した平成23年度と比較し、つるバスが約2・5倍、つるワゴンが約2倍と増加している。

問 運行ダイヤ、コースなどの要望や改善について。

答 利用者からの要望を、可能な限り踏まえ、道路の整備状況などに対応したルート・ダイヤの見直しを適宜行っている。引き続き、公共施設の再編などとタイミングを合わせて見直しを行い、市内公共交通の充実を図っていく。

問 東松山市のデマンドタクシーや嵐山町高齢者外出支援タクシー助成制度を参考にした制度

の検討は。



市内公共交通の充実を！

Q 複合施設(旧西中学校)の検討状況は

たかしの まさひろ
高篠 雅洋 議員



A 市民の声が反映された施設となるよう検討を進める

答 市域がコンパクトであるため、つるバス、つるワゴンのような路線定期運行を充実させることが市内公共交通の利便性向上に効果的である。
今後他自治体の先行事例などを研究しながら、実情にあった移動手段の確保・充実に向けて研究していく。

◎その他の質問 会計年度任用職員の雇用状況について



複合施設の基本構想策定に向けて！

問 複合施設(旧西中学校)基本構想策定に向けた市民意見調査の状況は。

答 アンケートやヒアリング、市民意見交換会により調査を実施している。

問 アンケートの回答は、西中学校周辺地域の居住者からが多く、年代は30・40代を中心に、幅広く意見があった。

答 子育て世代からの意見は、親子同士で遊ぶ、飲食ができる場所を望む声があった。

問 障害者生活介護施設の移転に対する利用者からの意見は。

答 移転後の施設においても、現行と同様に緑が見える環境やプライバシー及び安全性への配

慮を望む声があった。

問 老人福祉センターの風呂機能について、賛否両論あるが、どのように整理していくのか。

答 フレイル予防、介護予防のための社会参加や費用面を考慮し、さらに検討を進める。

問 市民意見調査結果から反映すべき点は。

答 市民意見調査の結果から市民意見を第一に考え、市民の声が反映された施設となるよう、今後も意見を伺いながら検討を進める。

◎その他の質問 一本松駅南口改札開設に向けた取組状況は